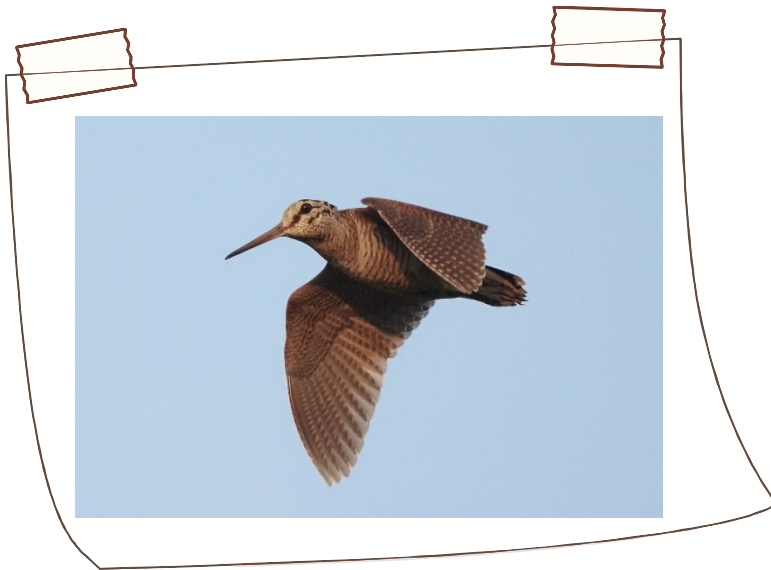




ネイチャーセンターだより

2026年5・6月号

新・いきもの図鑑



【参考文献】

小田谷嘉弥. 2024. Bird Research News Vol.11 No.11. Bird Research.
川上和人ほか. 2019. 鳥の骨格標本図鑑. 文一総合出版.
環境省. 2016. ヤマシギ(越冬期)調査マニュアル. 環境省自然環境局.

ヤマシギ (シギ科)

ハトぐらいの大きさでずんぐりとした体型のシギの仲間です。北海道では夏鳥で、林や草地に生息します。長いくちばしを土の中に差し込み、触覚を頼りにミズや昆虫をつかまえます。主に夜間に活動するため、姿を見る機会は少ない鳥です。5～6月の夕方、東梅駐車場でチキッ、チキッと変わった声で鳴きながら林の上を飛び回る鳥を見かけます。これはヤマシギのオスのディスプレイフライトです。同じ場所をグルグルと回るので、一か所で待っていると、再び同じ場所を飛んでいく姿を見ることができます。

日本では昔から狩猟鳥となっていますが、1980年代以降狩猟数が減少していることがわかっています。しかし、単に捕獲数が減少しているのか、生息数が減少しているのか詳しいことがわかっておらず、実態把握が必要とされています。

2月に春国岱でヒグマの目撃

～ヒグマを正しく恐れよう～



NEWS

市内における今年最初のヒグマの通報は、2月に国道44号線から風蓮湖を挟んだ春国岱岸に目撃されたものでした。春国岱でのヒグマの目撃は2023年までは5年に一度あるかどうかという頻度でしたが、2023年以降は毎年1、2回目撃されています。過去の目撃は6～9月が多く、2月の目撃には驚いた方も多と思います。今後は季節関係なく注意する必要があります。

ヒグマが怖くて歩けないという来訪者の声もよく聞きます。ただやみくもに怖がるばかりでは自然を楽しむことができなくなってしまったため、“怖い”、“危険”という情報だけでなく、どんな生きもので、どのように気をつければよいかを知ることが大事です。ネイチャーセンターには、新たにヒグマとその注意方法について紹介する展示を作成しましたので、来館の際はぜひご覧ください。

また、ヒグマ対策としてラジオを大音量で流しながら歩き、近くにいる人が声をかけてもなかなか気づかない方を時々見かけます。これではクマが近くにいる威嚇をしても気がつかず、大変危険です。「クマ対策＝音を出す」だけではないことを知っていただきたいと思います。

なお、ネイチャーセンターホームページにもヒグマへの注意について掲載しています。合わせてご覧ください。

ヒグマについて
ブログ→



見どころMAP



ヒバリコース、ハマナスコースの海岸草原でヒバリが、キタキツネコース周辺でオオジュリンやノビタキが見られます。

木道は老朽化により損傷している箇所があります。通行の際は足元に十分ご注意ください。

アカエゾマツコースでルリビタキやミソサザイのさえずりが聞こえます。

ミソサザイやアオジのさえずりがよく聞こえ、キツキ類やゴジュウカラなどの姿も見られます。

- 観察路(ヒバリコース 1.2km、約 25 分)
- 観察路(ハマナスコース 1.4km、約 30 分)
- 観察路(キタキツネコース 0.8km、約 20 分)
- 観察路(アカエゾマツコース 0.5km、約 15 分)
- 観察路(小鳥の小道 1.4km、約 30 分)
- 作業路(春国岱上は自転車を含む車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

5・6月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる(と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ	○	少数が風蓮湖周辺に残り、子育てをしています。上空を飛ぶ姿をよく見るほか、干潮時、風蓮湖や根室湾の干潟に降りて、魚や水鳥などを狙っている姿が見られます。
タンチョウ	+	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子が見られます。5月は抱卵・ふ化の時期でとても神経質になっているため、首を伸ばして人の方を見ているなど、落ち着かない様子のタンチョウがいたら近づかずすぐに離れてください。
オオジシギ	+	ネイチャーセンター駐車場付近や自然学習林周辺の草原、春国岱アカエゾマツコース周辺で、オスがメスに求愛するため「ズビャク、ズビャク」と鳴きながら飛び、「ゴゴゴー」と尾羽で音を出しながら急降下する姿が見られます。
ミヤコドリ	+	干潮時間帯前後に干潟にいるのを観察できます。昨年は珍しく6月以降も十数羽が見られましたが、例年、5月上旬には数が減ってきます。
春国岱	野鳥(森)	森からルリビタキやミソサザイ、アオジ、カッコウの声がよく聞こえるようになります。
	野鳥(草原)	海岸の草原ではヒバリのさえずりがよく聞かれます。風蓮湖の周りでは、ノビタキやオオジュリンが見られます。湿原では6月になると、マキノセンニュウやシマセンニュウなどのさえずりが聞かれるようになります。
	花	5月中旬にはエゾノコウボウムギ、ハマハタザオ、スミレなどが見られます。6月は、アカエゾマツコースでイワツツジ、マイヅルソウ、海岸草原でオオヤマフスマ、ハマナス、塩性湿地でウミミドリなどが花を咲かせます。
自然学習林	野鳥	夏鳥が続々と渡ってきます。5月上・中旬にはセンダイムシクイやエゾムシクイ、コムクドリ、アオバト、コサメビタキなどが渡来します。6月上旬にはエゾセンニュウのさえずりがよく聞かれるようになります。
	花	5月はミヤマスマレ、ヒメイチゲ、オオバナノエンレイソウ、エゾオオサクラソウ、シコタンキンポウゲなどが見られます。6月は、コンロンソウ、ネムロブンダマなどが開花します。

学校等への環境教育活動

3月に厚床小中学校と根室高等学校にて、学習発表会があり、レンジャーが出席して来ました。

厚床小中学校は昨年7月、レンジャーが学校へ出向いて3・4年生に根室の野鳥と自然についての授業を行いました。授業は45分2コマを使用し、児童のみなさんはとても熱心にメモをとったり、質問したりと、積極的な印象でした。その後、学校では根室市歴史と自然の資料館の学芸員さんからも授業を行っていただくなど、追加の学習があり、児童が各自、野鳥のためにできることを考え、実践する活動が行われたとのことです。発表会当日は児童が一人ずつ自分の活動を発表したあと、一人ずつブースをもち、募金活動やクイズ、野鳥を紹介する動画上映などを行っていました。

根室高等学校は1年生がグループごとに探究課題を設定しており、野鳥と樹木の関係について興味のある生徒5名が1月にネイチャーセンターに来館しました。40分というやや短い時間でしたが、レンジャーとともに東梅自然学習林を散策しながら、実際の自然を見ていただきました。3月の発表会ではそれぞれ学んだことや、各自で調べたこと、実践したことをポスター形式で発表していました。学校では今年度も引き続き課題の探究を続けるそうで、レンジャーも学校に出向く予定です。

春国岱ネイチャーセンターでは環境教育の団体対応をしており、根室市内の学校を中心に、毎年、幼稚園～高校まで5～8校程度を受け入れています。学校に出向いて屋内講義をすることもあれば、ネイチャーセンターに来ていただき、散策を含めた対応をすることもあります。興味深いのは、学校の立地によって児童・生徒の自然への認識が全く異なることです。全国的にみると自然があふれている根室市でも、身近にたくさん自然があると思っっている子から、ほとんど自然に触れ合っていない子までさまざまです。子どもたちへ自然学習や体験を考えている学校関係の方がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。



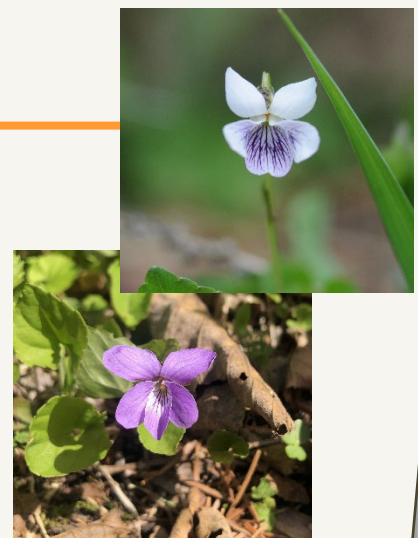
▲野鳥の名前ゲームをした児童のブース
(厚床小中学校)

春国岱クイズ

4～6月にかけて、東梅自然学習林や春国岱ではスミレの仲間が花を咲かせます。白や紫色の小さな花をつける植物です。園芸植物のパンジーは、サンシキスミレ等を交配させてつくられたもので、スミレは意外と身近な植物であることがわかります。

日本のスミレの仲間は約60種あり、根室地域でも15種以上が確認されています。では、野外でスミレを見つけて家に帰ってから種類を調べるとき、必要なのは次のうちどれでしょう？

- ① 花の正面をアップで撮った写真があれば調べられるよ！
- ② 花の正面と植物全体を遠いところから撮影すればOK！
- ③ 花の正面と側面、葉と茎をそれぞれアップで、それと、全体を写した写真があるといいな。



イベント情報

【申し込み・問合せ】春国岱ネイチャーセンター
電話：0153-25-3047 E-mail:nemu_nc@marimo.or.jp



◆ 5/2～5 春の小道のミニガイドウォーク

小鳥の小道コースを歩きながら、季節の花や鳥、風蓮湖や春国岱の景色をレンジャーが案内する、少人数・短時間のガイドです。

◇日時：2026年5月2日(土)～5日(火)
各日2回開催 ①9:30～10:00 ②11:00～11:30
※少雨決行、荒天時は中止

◇集合：春国岱ネイチャーセンター
◇対象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

◇定員：各回6名(先着順)

◇参加費：一人100円

◇服装・持ち物：歩きやすく汚れてもよい靴(長靴がおすすめ、貸出有)、長そで、長ズボン、帽子、雨具。飲み物、筆記用具、虫よけスプレー(マダニ対策)、お持ちの方は双眼鏡(希望者には貸出有)。

◇申し込み：メール、電話または来館時に直接。参加枠に空きがあれば、当日参加も可能です。

◆ 6/14 奇跡の島・春国岱ガイドツアー

野鳥などの生きものを観察しながら、奇跡の島といわれる春国岱の成り立ちや多様な環境をレンジャーがご案内します。

◇日時：2026年6月14日(日) 9:30～12:00

※荒天時は、6月21日(日)に順延

◇集合／解散：春国岱ネイチャーセンター／春国岱駐車場

◇対象：自分の足で4km歩ける小学生～大人
(小学生は保護者同伴)

◇定員：20名(先着順)

◇参加費：一人100円

◇服装・持ち物：帽子、動きやすい服装、長靴または歩きやすく汚れてもいい靴、雨具、手袋、飲み物、筆記用具、虫よけ対策(スプレーなど)、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり、申込時にお知らせください)

◇申し込み：メール、電話または来館時に直接。参加者全員の氏名・連絡先・小学生は年齢・学年もお知らせください。

◇申し込み締切り 6月12日(金)17:00

募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：小学生以上(ただし、小中学生は保護者同伴)

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします

クイズのこたえ ③。さらには地上茎があるかどうか、茎や葉に毛があるかどうかなども見分けるポイントになります。スマレを調べたい時は、いろいろな写真を撮って図鑑と照らし合わせてみましょう。ただし、写真を撮りたいからと、散策路を外れることのないように!

【参考文献】松下ほか、2003. 根室地方スマレハンドブック. ニムオロ自然研究会. 佐藤、2018. 釧路のスマレフォト&ハンドブック.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570
Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間：9:00～17:00

◆休館日：5月1・7・8・11・12・13・20・27日
6月3・10・17・24日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報を発信しています!



ラムサール条約湿地
風蓮湖・春国岱

2005年11月登録